

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名

【 熊本県 】 熊本市立長嶺中学校

1 実践テーマ	【 I V 】
2 実施対象者	生徒 44 名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他 (部活動) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	(1) 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会への機運を高める。 (2) オリンピアン生き方を学ぶ。
5 取組内容	平成29年11月12日(水)に本校体育館にて、佐々木信男氏(ハンドボール・ロサンゼルス大会出場)を迎え、ハンドボール部員44名を対象とした講演と実技指導を行った。 講演では、ハンドボールを始めた契機や、オリンピック競技大会に参加するまでに経験した海外の選手との差などについてのお話し、さらには、オリンピック競技大会に出場したときに経験した選手村でのことや海外との選手との関わりに関するエピソードをお話いただいた。 また、当時の写真や大会に参加した際にもらった日本代表のブレザーを持参いただき、より生徒がオリンピック競技大会に興味・関心を持てるような工夫をしていただいた。
6 主な成果	講演内容からみた成果 ・オリンピックに出場してメダルを獲得するためには明確な夢をもつことと、それを叶えるための目標をたててひとつひとつクリアするために努力を続けることが大切である、ということを生徒達は学んだ。 ・高い目標をもつことの大切さを生徒達は学んだ。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	・ハンドボールの元選手が来るということで、ハンドボール部の生徒を中心に講演と実技指導を実施した。 ・講演においては、オリンピックに出場してよかったという佐々木氏の思いが伝わった。

8主な課題等	•ひとつの部活動だけでなく、複数の部活動や学年、全校生徒も対象に計画していきたい。
9来年度以降の実施予定	自分達の部活動と関わる内容であったため、とても有意義であったとの感想が聞かれた。来年度についても、継続して実施したい